

●道路特定事業計画（滝川市バリアフリー基本構想）の作成に伴う意向調査

日 時：平成 23 年 11 月 7 日（月）9：00～12：00

場 所：滝川市役所 4階 401 会議室及び現場立会

出席者（市民）

団体及び事業者	役職	氏名	備考
社会福祉法人 滝川社会福祉協議会	会長	丹羽修身	
滝川障がい者団体連絡協議会	会長	左京信二	
	事務局長	富井令子	
	滝川身体障がい者福祉協会	田中勇喜男	
滝川老人クラブ連合会	会長	黒井巖	
滝川市町内会連合会協議会	会長	岩田兼一	

出席者（事業関係者）

団体及び事業者	役職	氏名	備考
北海道開発局札幌開発建設部滝川道路事務所	計画課長	榎木利弘	
	第 2 計画係長	米山康裕	
北海道札幌建設管理部滝川出張所	道路第 1 係長	木下眞記雄	
	主任	塩谷直人	
滝川市建設部土木課都市計画室	室長	高瀬慎二郎	
	副主幹	湯浅芳和	
	主査	種田佳宏	
滝川市建設部土木課	副主幹	尾崎 敦	
	主査	近藤誕樹	
	主任	遠藤友樹弘	

<議事概要>（○は主な意見）

会議室での北海道、滝川市の事業説明の後、質疑応答及び意見交換があった。主な意見は以下のとおり。

- 自転車通行をどうするかを検討してはどうか。
- 視覚障害者誘導用ブロックは今後滑りにくいものがよい。
- バリアフリーを考えるのならブロック舗装より通常のアスファルト舗装がよい。

<現場立会概要> (○は主な意見)

1. 滝川市立病院前歩道

滝川市立病院前歩道（事業後）にて、歩道横断勾配1%、排水性舗装について説明。

2. 市道鈴蘭通

鈴蘭通にてマウントアップ方式、民地境界の納まり、視覚障害者用誘導ブロックの横断位置について説明した。

○セミフラット方式にすると流雪溝の高さを
変えなければいけないため大工事になる。

マウントアップ方式がいいのでは。

○歩道横断勾配は2%より1%の方が移動し
やすい。

○視覚障害者用誘導ブロックの位置は標準横
断図案のとおり民地境界から1mでよい。

3. 道道滝川停車場線

道道滝川停車場線にてマウントアップ方式、
バス停留所の納まり、歩道縁石高さ、視覚障
害者用誘導ブロックの横断位置について説明
した。

○視覚障害者用誘導ブロックの位置は標準横
断図案のとおり民地境界より0.6mでよい。

4. 国道451号

国道451号にて視覚障害者用誘導ブロック
の施工例について説明した。

